



前後町長に提言書を手渡す佐藤委員長(左から2人目)ら

## 小学校を2校に統合・再編

町教育施設(小学校)適正配置等に関する提言書を提出

町教育施設適正配置等推進委員会の佐藤昭裕会長と阿部智剛副会長は8月23日、町役場を訪れ、前後公町長に町教育施設(小学校)適正配置等に関する提言書を手渡しました。6月21日と7月20日に開催された同委員会で、現在ある6つの小学校を2校に統合・再編すると承認した内容などの提言書を前後町長に提出しました。今後は統合小学校の準備委員会を立ち上げて、準備を進めていきます。

## 鉄人レースを繰り広げる

第24回うつくしまトライアスロンinあいづ

「第24回うつくしまトライアスロンinあいづ」は8月21日、猪苗代湖・天神浜をスタートし、会津若松市の会津大学でフィニッシュするコースで3年ぶりに開かれました。

大会には、545人がエントリー。県内外から集まった「鉄人たち」が参加し、猪苗代湖と磐梯山を望む景色のもと、スイム1.5㌔、バイク40㌔、ラン10㌔の計51.5㌔で熱いレースを繰り広げました。



熱いレースを繰り広げる選手たち

## 子どもたちにより良い環境を

猪苗代ビルドの会ボランティア活動

町内の建設業者などで作る猪苗代ビルドの会は8月23日、町内のこども園や小学校などの修繕ボランティア活動を行いました。出発式は同日、町役場で行われ、大川原世資廣会長が「今日一日、けがのないように活動してください」とあいさつ。前後公町長と宇南山忠明教育長がお礼の言葉を述べました。

ボランティア活動には会員15人が参加。参加者は3班に分かれて修繕作業を行いました。



猪苗代小学校図工室のサッシの戸車を取り換える会員

## 山本文司さんに知事感謝状

納税功労者等知事感謝状贈呈式

納税功労者等知事感謝状贈呈式は8月19日、町役場で行われ、高野武彦県会津地方振興局長が中町納税貯蓄組合の山本文司さんに感謝状を手渡しました。

式では、高野振興局長が「13年の長きにわたり納税貯蓄組合長として、地域と組合員の納税意識の高揚にご尽力いただきありがとうございます。今後も納税貯蓄組合の発展にご協力をお願いします」とあいさつを述べました。



高野振興局長(左)から感謝状を受けた山本さん(中央)



パネリストの上野さん(中央)と對馬さん(右)

## ガーナと交流を深める

ガーナとの東京2020オリパラ大会の事後交流事業

事後交流事業は8月6日、町内で行われ、児童ら町民が参加しました。猪苗代小体育館で行われたミニサッカー教室では、同国出身の元Jリーガー矢野マイケルさんが児童にボールタッチなどを指導しました。学びいなで行われたパネルトークでは、矢野さんと弟のデイビットさん、JICA海外協力隊で同国に派遣されていた上野真理恵さんと對馬朱香さんの4人で生い立ちやガーナでの活動などを語りました。

## 現役続行とメダル獲得を誓う

本町出身の鈴木猛史選手が表敬訪問

3月に中国で開かれた北京冬季パラリンピックでアルペンスキー男子座位に出場した鈴木猛史選手は8月5日、町役場を訪れ、前後公町長と宇南山忠明教育長に現役続行と次のトリノ大会でのメダル獲得を誓いました。

鈴木選手は「負けたまま終わるのは悔しい。もう一度町にメダルを持ってきたい。皆さんのために自分を奮い立たせて頑張りたい」と話しました。



北京冬季パラリンピックを振り返る鈴木選手(右)

## 中学生らが防災意識を高める

ステップアップボランティア講習会

町社会福祉協議会では8月5日と9日の2日間、日本赤十字社福島県支部から講師を招き、猪苗代中学校でステップアップボランティア講習会を開きました。多様化する活動に幅広く対応できるボランティアの育成と防災意識を高めることが目的。

初日の講習会には、「自分の地域の危険性を知ろう!!」と題して、中学生や民生児童委員、ボランティア連絡協議会会員などが参加し、グループに分かれて災害図上訓練を行いました。



災害図上訓練を行う参加者

## くぜ 救世観音祭礼で御詠歌

野口英世記念館で救世観音祭礼

野口英世記念館の野口博士家前にある観音堂の救世観音(一葉観音)祭礼は8月9日、同館で行われました。野口家の菩提寺である長照寺の楠恭信住職が読経し、三城潟御詠歌護持親睦会の会員8人が御詠歌を歌い上げました。

観音堂は、野口博士の母シカが生涯にわたり会津美里町の中田観音を信仰していたことにちなんで同館内にまつられ、台座には中田観音の分霊が納められています。



御詠歌を歌い上げる三城潟御詠歌護持親睦会の会員ら